

## 黎明の滝

黎明の滝は、川の水量によってその姿を変える。水量が少ないときは、中央の岩の左側にあるメインの滝だけを見ることができる。雨の後など増水すると、岩の周囲にいくつもの小滝ができ、荒々しい光景となる。滝の落差は 5 メートルと比較的緩やかで、水しぶきが夜明けの霧に似ていることから、夜明けを意味する「黎明」と名づけられた。この滝のすぐ近くには、1823 年に大名が建築資材として植えた杉の木がある。伐採されることなく残ったこの木は川の上に高くそびえ立ち、ムササビの生息地にもなっている。ムササビは鋭い爪で木に登り、樹皮を剥がしてしまうこともある。